

令和5年度 施政方針達成状況調書(3月末現在)

事業達成率の基本的な考え方

- 1 委託 未契約は0%, 契約済み未完了は50%, 完了で100%
 - 2 工事 未契約は0%, 契約済み未完了は50%, 完了で100%
 - 3 用地 協議中は0%, 契約済み未完了は50%, 完了で100%
 - 4 補償 未契約は0%, 契約済み未完了は50%, 完了で100%
 - 5 イベント 中止は0%, 開催予定は50%, 開催済で100%
 - 6 年間通してのソフト事業 9月末は50%, 年度末で100%
 - 7 補助金 未交付決定は0%, 交付決定済み未精算は50%, 精算済みで100%
 - 8 負担金 未支出は0%, 支出済みで100%
- ※上記により難しい場合は、各事業の指標(人数、件数等)により算出してください。
 【例】達成状況：計画件数100件(A), 実績件数60件(B)
 事業達成率：(B)/(A)=60%

1. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

(単位:千円)

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-1	新型コロナウイルスワクチンの接種 (保健福祉部 健康推進課)	<p>○予防接種法に規定される臨時接種として、引き続き新型コロナウイルスワクチン接種を実施する。市生涯保健センター(ヘルス・ケア・センター)を拠点施設とし、次年度以降の定期接種化に向けて医療機関における個別接種を中心とした接種体制へ移行させながら、併せて集団接種も実施する。</p> <p>・R5.5.8施行 令和5年春開始接種(対象:初回接種を終了した65歳以上並びに12歳以上64歳以下で基礎疾患を有する者等) ・R5.9.20施行 令和5年秋開始接種(対象:初回接種を終了した生後6か月以上の全ての方) ・R6.3.31特例臨時接種実施期間終了</p> <p>※12歳以上で全ての接種を受けている場合の接種内容 4回目…令和4年追加接種(従来株ワクチン) 5回目…令和4年秋開始接種(オミクロン株対応2価ワクチン) 6回目…令和5年春開始接種(オミクロン株対応2価ワクチン) 7回目…令和5年秋開始接種(オミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチン)</p>	512,089 (繰越)	512,089	334,658	0	<p>年齢別接種実績(令和6年3月末現在)</p> <p>○65歳以上 接種者数/対象者数=接種率 4回目 38,108人/41,570人=91.7% 5回目 33,026人/41,570人=79.4% 6回目 26,570人/41,570人=63.9% 7回目 20,326人/41,570人=48.9%</p> <p>○12歳以上64歳以下 接種者数/対象者数=接種率 4回目 41,654人/99,993人=41.7% 5回目 19,614人/99,993人=19.6% 6回目 4,981人/99,993人= 5.0% 7回目 1,615人/99,993人= 1.6%</p> <p>○小児(5歳以上11歳以下) 接種者数/対象者数=接種率 初回接種1回目 3,363人/8,979人=37.5% 初回接種2回目 3,286人/8,979人=36.6% 3回目 1,359人/8,979人=15.1% 4回目 511人/8,979人= 5.7% 5回目 232人/8,979人= 2.6%</p> <p>○乳幼児(生後6か月以上4歳以下) 接種者数/対象者数=接種率 初回接種1回目 405人/5,220人= 7.8% 初回接種2回目 387人/5,220人= 7.4% 初回接種3回目 329人/5,220人= 6.3% 4回目 139人/5,220人= 2.7%</p>	100%	
1-2	防災行政無線デジタル化事業 (市民生活部 生活安全課)	<p>アナログ方式の同報系防災行政無線をデジタル方式に更新するための工事を令和4~7年度に行う。</p> <p>○工事 ひたちなか市デジタル同報系防災行政無線設備整備工事 親局更新,再送信子局整備 等</p> <p>○委託 ひたちなか市デジタル同報系防災行政無線設備整備工事監理業務委託</p>	483,335	429,182	429,182	0	<p>契約済 令和5年度分事業完了</p> <p>○工事期間：令和4~7年度 ○入札方式：一般競争入札 ○契約金額：13億4,750万円 ○令和5年度の工事内容：親局設備・遠隔制御局の更新,再送信子局・子局の整備,デジタル式戸別受信機配備 等</p>	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-3	要安全確認計画記載建築物耐震化支援事業 (都市整備部 建築指導課)	○地震等の災害時において、支援体制の確保を図るため、県が指定する緊急輸送道路の沿道建築物の内、対象基準に該当した民間建築物の耐震診断に係る費用を補助する(補助率)国1/2, 県1/3, 市1/6(上限額3,670円/㎡)	25,225	3,086	0	3,086	○補助金 要安全確認計画記載建築物耐震診断補助 0棟/1棟(計画棟数) (令和6年度繰越し事業)	0%	当該事業へ前向きな回答を得られた事業者と耐震診断の実行について調整してきたところであるが、対象建築物が店舗として営業しており、耐震診断の実施時期について調整が難航し、不測の日数を要しているため。 令和6年度繰越し事業として対応する。
1-4	配水管の耐震化 (水道事業所)	○配水管布設工事 5件 (L=1,140.6m)	804,484	1,243,072	615,925	627,147	○配水管布設工事 完了 5件(1,140.6m) ○配水管布設替工事 契約済み未完了 2件(817.3m) 完了 13件(4,983.2m) ○配水幹線布設(替)工事 未契約 0件(0.0m) 契約済み未完了 3件(542.4m) ○重要給水施設配水管 未契約 1件(284m) 契約済み未完了 1件(564.5m) 完了 0件(0m)	84%	
		○配水管布設替工事(繰越) 1件 (L=98.2m) ○配水幹線布設(替)工事(R4~5継続費) 1件 (L=648.9m)							
1-5	総合防災訓練事業 (市民生活部 生活安全課)	○総合防災訓練事業 8月26日(土)午前9時~正午 感染症発症者が複数確認されている中で大地震、津波の発生を想定し、自主防災会や小・中学校、関係機関参加による総合防災訓練を実施する。	2,500	2,095	2,000	0	○令和5年8月26日(土)訓練実施 54か所の指定避難所開設 65自主防災会、約6,000人参加 ○令和5年10月20日(金)に自主防災会を一堂に会した訓練に係る意見交換会を実施	100%	
1-6	防災リーダーの育成 (市民生活部 生活安全課)	○自主防災組織防災リーダー育成支援事業 防災士資格取得に係る受講料・登録料を補助する。(上限8千円)	200	56	56	0	○申請件数 : 6件 ○資格取得者数 : 7人	100%	
1-7	那珂川堤防の整備促進 (建設部 河川課)	○那珂川無堤部の築堤の促進、中丸川・早戸川水門への常設排水ポンプの設置を国に要望	—	—	—	—	○県央地域首長懇話会、那珂川改修期成同盟会、市単独要望を通じ国に対して那珂川の早期改修を求める要望書を提出	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-8	雨水幹線の整備 (建設部 河川課)	○中丸川流域における浸水被害軽減プランの 促進 大島第1幹線詳細設計委託(JR委託)N=1式 高場雨水4号幹線管きょ布設工事 L= 50m 大島第1幹線管きょ布設工事 L=158m 大島第2幹線管きょ布設工事 (全体設計R5・R6・R7) L=540m 雨水貯留施設(田彦小)整備工事 N=1式	913,628	957,950	62,794	895,155	○中丸川流域における浸水被害軽減プランを 策定 大島第1幹線委託 完了 高場雨水4号工事 未契約(6月契約予定) 大島第1幹線工事 契約済 大島第2幹線工事 契約済 雨水貯留施設工事 契約済	50%	
		○中丸川流域における浸水被害軽減プランの 促進 大島第2幹線積算委託(県公社委託)N=1式 高場雨水1号幹線管きょ布設工事 L= 67m 高場雨水4号幹線管きょ布設工事 L=151m 高場雨水9号幹線管きょ布設工事 L=230m 用地買収 A=4,837㎡ 3人	1,025,581 (繰越)	1,025,581	589,331	315,921	○中丸川流域における浸水被害軽減プランを 策定 大島第2幹線委託 完了 高場雨水1号工事 完了 高場雨水4号工事 契約済 高場雨水9号工事 完了 用地買収(2人) 完了	90%	
		○その他の雨水幹線の整備 東部第2雨水管きょ基本設計委託 N=1式 佐和駅東雨水管きょ詳細設計委託 N=1式 武田雨水管きょ詳細設計委託 N=1式 大島第4幹線詳細設計委託 N=1式 東部第2雨水管きょ布設工事 L=201m 佐和駅東雨水管きょ布設工事 L= 17m 佐和駅東雨水管きょ布設工事 L=136m 武田雨水管きょ布設工事(第4) L=129m 武田雨水管きょ布設工事(第3) L=168m 六ッ野雨水管きょ布設工事(高場) L= 95m 六ッ野雨水管きょ布設工事(大島) L= 4m 六ッ野雨水管きょ布設工事(大島) L=300m 六ッ野雨水管きょ布設工事(大島) L= 70m	437,771	393,449	43,296	350,153	○その他の雨水幹線の整備 東部第2委託 完了 佐和駅東委託 完了 武田委託 完了 大島第4幹線委託 未契約(6月契約予定) 東部第2工事 契約済 佐和駅東工事 契約済 佐和駅東工事 契約済 武田工事 契約済 武田工事 契約済 六ッ野工事 契約済 六ッ野工事 完了 六ッ野工事 契約済 六ッ野工事 完了	65%	
		○その他の雨水幹線の整備 本郷雨水7号幹線管きょ布設工事 L=149m 佐和駅東雨水管きょ布設工事 L= 59m 武田雨水管きょ布設工事(第3) L= 99m 六ッ野雨水管きょ布設工事(高場) L=285m 六ッ野雨水管きょ布設工事(高場) L=156m 船窪雨水管きょ布設工事 L=102m 佐和駅東雨水管きょ布設工事 L=164m	350,709 (繰越)	350,709	340,815	0	○その他の雨水幹線の整備 本郷雨水7号工事 完了 佐和駅東工事 完了 武田工事 完了 六ッ野工事 完了 六ッ野工事 完了 船窪工事 完了 佐和駅東工事 完了	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-9	河川の改修 (建設部 河川課)	○一級河川大川の改修 大川改修工事 L=110m 新宮田橋付帯工事 N=1式 大川改修付帯工事 N=1式 用地買収 A=2,574㎡ 4人 救農橋整備事業負担金 N=1式	213,750	213,750	89,741	122,898	○一級河川大川の改修 改修工事 未契約(5月契約予定) 新宮田橋工事 契約済 改修付帯工事 契約済 用地買収(2人) 完了 救農橋負担金 未支出	40%	改修工事については、支障物件の移設に不測の日数を要したため。また、負担金については、県事業の進捗に遅れが生じ、支出できないため。
		○一級河川大川の改修 大川改修工事 L=280m 用地買収 A=74㎡ 2人 救農橋整備事業負担金 N=1式	97,622 (繰越)	97,622	95,987	0	○一級河川大川の改修 改修工事 完了 救農橋負担金 支出済	100%	
		○一級河川大川の改修 無名橋(新宮田橋)上部工事 N=1式 救農橋整備事業負担金 N=1式	80,716 (事故繰越)	80,716	75,629	0	○一級河川大川の改修 無名橋工事 完了 救農橋負担金 支出済	100%	
		○県に一級河川早戸川及び中丸川の早期改修を要望	-	-	-	-	○県央地域首長懇話会、県政に対する要望事項を通じ県に対して一級河川早戸川及び中丸川の早期改修を求める要望書を提出	100%	
1-10	広域避難計画の策定 (市民生活部 生活安全課)	○広域避難計画の策定 県及び関係市町村と連携した協議。	-	-	-	-	○1人当たりの避難所面積を3㎡とする県の方針に基づき、避難先自治体に収容可能人数を確認し、不足分を整理した。 ○県と連携し、不足分の避難先確保に向けた調整を行う。現在は県内の国機関や民間施設に協力依頼を行っているところ。今後、県外の市町村にも更なる避難所提供を依頼する。	-	
1-11	新安全協定の運用 (市民生活部 生活安全課)	○東海第二原発の再稼働問題への対応	-	-	-	-	○新安全協定を締結した6市村による「原子力所在地域首長懇談会」から日本原電に対し、5月に「合意形成を図るための協議会」の協議事項を提示→6月に異存ない旨の回答。 ○「原子力所在地域首長懇談会」において、日本原電による東海第二発電所安全性向上対策工事の状況確認や意見交換を行った。(7月14日) ※防潮堤工事に施工不良があり、令和5年6月から工事中断。現在、強度確保のための設計変更について、規制委員会が審査中。認可後に工期変更の見通し。	-	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-12	安定ヨウ素剤事前配布事業 (保健福祉部 健康推進課)	○万が一の原子力災害に備え、全市民を対象とした安定ヨウ素剤の事前配布を、協力薬局等およびヘルスケアセンター・那珂湊保健相談センターで開催する1歳6か月児健診での配布会にて実施する。	17,080	14,710	13,164	0	○配布数, 配布率 (令和5年4月～令和6年3月) 【丸剤】※令和6年3月更新 ■旧丸剤 配布数 2,209人 (令和元年7月以降累計配布者37,879人) 配布率 25.02% ■新丸剤 配布数 91人 配布率 0.06% 【ゼリー剤】※令和6年3月切替 ■旧ゼリー剤 配布数 1,174人 (令和5年1月以降累計配布者1,609人) 配布率 52.24% ■新ゼリー剤 配布数 6人 配布率 0.19% ○配布会回数 (令和5年4月～令和6年3月) 36回 1歳6か月児健診と合わせて開催	100%	
1-13	消防本部・笹野消防署庁舎建設工事 (広域事務組合消防本部)	○消防本部・笹野消防署庁舎建設 令和1年度 基本計画 令和2～3年度 基本設計・実施設計 令和4～6年度 建設工事 監理業務委託	1,211,815	902,579	902,579	0	○建設工事 契約済み(R4.8.8契約) 契約期間 R4.8.9からR6.9.30 ○監理業務委託 契約済み(R4.8.17契約) 契約期間 R4.8.18からR6.10.4	50%	
1-14	消防指令システム・消防救急デジタル無線システム更新工事 (広域事務組合消防本部)	○消防指令システム・消防救急デジタル無線システム更新 令和2～3年度 基本設計・実施設計 令和5～6年度 システム更新工事 監理業務委託	384,765	304,920	304,920	0	○システム更新工事 契約済み(R5.5.31契約) 契約期間 R5.6.1からR7.3.14 ○監理業務委託 契約済み(R5.6.19契約) 契約期間 R5.6.20からR7.3.18	50%	
1-15	空き家対策 (市民生活部 市民活動課)	○危険空き家の所有者等に対する適正管理指導 ○発生抑制に関する取組 ○有効活用の実施	6,290	7,536	6,846	0	○所有者に対する適正管理の指導件数195件 (解決・是正件数 116件) ○市報やホームページ, SNSでの啓発 ○固定資産税納税通知(4月)及び後期高齢者医療費通知(7月)を利用した啓発リーフレットの送付 ○無料相談会年2回(7月, 11月) ○空き家バンク事業 新規登録物件数 15件 成約件数 14件 新規利用登録数 19件	100%	
1-16	消費生活相談の実施 (市民生活部 女性生活課)	○消費生活相談員による相談を実施し, 消費者被害の救済, 未然防止を目指す。	6,865	7,094	6,956	0	○相談件数 990件(前年比53件増) 60代以上の相談割合 51% 主な相談内容 商品一般 143件 教養娯楽品 91件 工事・建築・加工 77件 他の役務 77件	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-17	消費生活の啓発推進 (市民生活部 女性生活課)	○若者から高齢者までの全世代における消費者被害の未然防止のため、講演会または講座を開催し、消費者教育の推進を図る。 ○悪質商法やニセ電話詐欺等の被害を防止するため、65歳以上の世帯を対象に、自動通話録音装置の貸出を行う。	1,619	1,619	1,604	0	○消費者教育の推進 ①若年層への啓発（講演会または講座の実施） 小学校3校（合計189名） 高等学校6校（合計1,016名） 中学校3校（合計397名） ②高齢者等への啓発 ふれあい講座の開催24回（合計533名） 自治会・高齢者クラブ等へ啓発 ○自動通話録音装置の貸出 貸出数 150台（完了） 簡易録音装置 令和5年9月800台寄贈 配布台数 144台	100%	

2. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-1	地域福祉座談会（井戸端会議）の開催 (保健福祉部 地域福祉課)	○社会福祉協議会と共同開催し、地域の福祉課題について市民自らが話し合い、支え合いの必要性を認識してもらうことで、地域福祉について意識の醸成を図る（全8回）。	158	158	91	0	○「ご近所さんへのエール！～私たちにできること～」をテーマに開催。 ○開催状況（参加者129名） 大島7/25, 佐野7/26, 勝田二中7/27, 田彦8/2, 美乃浜8/4, 勝田一中8/8, 勝田三中8/9, 那珂湊8/10	100%	
2-2	地域福祉推進体制整備事業（生活支援体制整備事業）の実施 (保健福祉部 地域福祉課)	○地域福祉コーディネーターの配置 ○地域の福祉課題の抽出・解決について話し合う場（協議体）の開催	12,947	12,947	12,947	0	○地域福祉コーディネーターを社会福祉協議会、勝田中学区、大島中学区に配置 ○開催状況 勝田二中学区：4月、8月、2月 大島中学区：6月、8月、10月、11月、1月	100%	
2-3	人材育成講座の開催 (保健福祉部 地域福祉課)	○社会福祉協議会と共同開催し、地域福祉の担い手の育成を行う（全3回）。	364	364	131	0	○「Z世代から学ぶ これからの地域づくり」をテーマに開催。 ○参加者確保のため、例年の開催形式を変更し、参加者42名にて実施。	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-4	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 (保健福祉部 高齢福祉課)	○75歳以上の高齢者に対する個別支援と通いの場等への積極的な関与等を実施する。 ・個別支援：KDBシステムにおいて支援対象者を特定し戸別訪問等を行う。 【健康状態不明者】健診及び医療機関未受診の高齢者 109名 【低栄養者】前年度集団健診の結果でBMI20以下の高齢者 69名 【重症化予防】健診結果が受診勧奨で医療機関未受診の高齢者 4名 糖尿病治療中断者 (前年度健診未受診・病院未受診) 200名 特定保健指導の継続者(健康推進課より移行) 85名 ・通いの場への積極的な関与：保健師等によるフレイル予防の啓発活動や健康教育、参加者の現状把握 【対象場所】シルバーリハビリ体操教室・ときめき元気塾・フレイル予防教室・移動スーパー等 129か所, 211回開催予定	37,155	37,527	36,989	0	○個別支援 【健康状態不明者】訪問数：102名 【低栄養者】健康教室実施：2会場 20名 【重症化予防対象者】訪問数：256名 ○通いの場への積極的な関与 実施状況：123か所, 142回開催・3,186名 健診会場での当事業の普及啓発：21か所 1,053名 ○その他 移動スーパーでの普及啓発 実施状況：42か所・181名	100%	
2-5	医療・介護の連携の推進 (保健福祉部 高齢福祉課)	○市と医師会の共同により設置している「在宅医療・介護連携推進センター」を運営支援し、医療・介護関係者等からの相談に応じるとともに、ICTツール「電子@連絡帳」を活用し多職種間の情報共有の促進を図り、在宅医療・介護連携の体制づくりを推進する。	14,674	14,274	14,274	0	「連携推進センター」において、医療・介護事業者等への周知を行うとともに、相談対応支援に努めている。また、多職種間の情報共有を促進するためのICTツール「電子@連絡帳」の普及に努めるとともに、「多職種協働のための意見交換会」等を開催する等、在宅医療・介護連携の体制づくりを推進している。 ・令和6年3月末現在の電子連絡帳登録者数：事業所285ヶ所, スタッフ725名, 支援対象者280名 ・第15回多職種協働のための意見交換会(Web開催) 参加者数：医療・介護従事者115名(内医師・歯科医師9名) ・第6回つながる学び場(3中, 佐野中学区) 参加者数：医療・介護従事者24名(内歯科医師2名) ・第7回つながる学び場(湊中, 美乃浜学園学区) 参加者数：医療・介護従事者35名 ・第8回つながる学び場(大島中学区) 参加者数：医療・介護従事者31名(内医師1名)	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-6	介護基盤整備等の整備 (保健福祉部 介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"> ◎介護施設等開設準備支援事業 (15,102千円) 介護施設等の円滑な開設に向け、開設に必要な経費について支援する。 ○「認知症対応型共同生活介護」 1施設(15,102千円) ◎地域密着型サービス施設整備支援事業 (33,600千円) 介護サービス提供体制の整備を促進するため、地域密着型サービスの整備(建設)に要する経費について支援する。 ○「小規模多機能型居宅介護」 1施設(33,600千円) 	15,102	48,702	15,102	33,600	<ul style="list-style-type: none"> ◎介護施設等開設準備支援事業 ○「認知症対応型共同生活介護」 補助対象者：(株)SMILEサポート 補助金額：15,102千円 10月27日付交付申請に基づき、11月6日交付決定(令和6年4月17日支払い予定) ◎地域密着型サービス施設整備支援事業 ○「小規模多機能型居宅介護」 補助対象者：(社福)博友会 補助金額：33,600千円(繰越) 12月21日付交付申請に基づき、12月22日交付決定(補助対象施設は、児童発達支援事業所と同一建物として建設するとともに、同一敷地内にサービス付き高齢者向け住宅や保育施設を一体的に整備することから工期を要するため、令和6年度に事業を繰り越す) 	75%	
2-7	地域医療体制の充実と救急医療体制の強化 (保健福祉部 健康推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療医師確保対策事業補助 日立製作所ひたちなか総合病院に対し、 ①社会連携講座による高度専門医師確保への補助(医師6人) ②救急医療に要する麻酔科医確保への補助 (常勤医師4人、非常勤医師延べ440人) ○いばらき県央地域連携中枢都市圏連携事業・周産期医療提供体制の維持・確保事業 水戸赤十字病院における産婦人科医の確保に対する財政支援(負担金) 	51,299	31,239	31,233	0	<ul style="list-style-type: none"> ○医師確保状況 ①社会連携講座 常勤医師3人 確保 ②麻酔科医 常勤医師3人、非常勤医師延べ485人 確保 ○いばらき県央地域連携中枢都市圏連携事業・周産期医療提供体制の維持・確保事業 水戸赤十字病院における産婦人科医の確保に対する財政的支援を行った。 	100%	
2-8	初期救急医療体制の強化 (保健福祉部 健康推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ○休日夜間診療所運営の開設日拡大 多くの医療機関が休診となる8月13日から15日までの期間について開設する。 	91,049	81,438	70,570	0	<ul style="list-style-type: none"> ○診療所の開設状況(受診者数) 8月13日 昼間48人 夜間17人 14日 昼間32人 15日 昼間26人 3日間計123人 ※13日は暦上、通常の日曜日として開設 ※14日、15日は医師会、薬剤師会と協議のうえ、昼間のみ開設 	100%	
2-9	基幹相談支援センター運営事業 (保健福祉部 障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における相談支援の拠点として、基幹相談支援センターを開設し、市内の障害福祉事業所等関係機関との連携強化を図る。 	21,733	21,733	21,733	0	<ul style="list-style-type: none"> ○R5年4月、社会福祉協議会内にセンター開設・相談支援連絡会 11回開催(関係機関による勉強会、意見交換、新規事業所の紹介等) ・市内事業所向け新人研修会 2回開催(34事業所延べ104名参加) 	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-10	高齢者買い物支援事業 (保健福祉部 高齢福祉課)	<p>○社会福祉法人が実施する「買い物支援バス」に要する経費の一部を補助する。また、補助対象を医療法人に拡大したため、関係部署や法人等との調整を進めていく。 ・補助額 対象経費の2分の1（上限6万円）</p> <p>○移動販売（とくし丸、カスミ）を行う民間事業所とは、協定に基づく高齢者の見守り支援を行うとともに、事業周知や利用促進を図っていく。</p> <p>○民間サービスの情報提供を可能とする「買い物支援等協力店登録制度」の募集開始とともに、事業周知を進めていく。また、ガイドブックを作成し、高齢者等必要な方に利用促進を図っていく。</p>	692	572	181	0	<p>○社会福祉法人等による「買い物支援バス」 ・社会福祉法人新世会が週2回、社会福祉法人北養会が週1回、社会福祉法人克仁会が週1回、スーパーや病院に送迎。 補助金交付決定済み（未精算）：3件 交付決定額：171千円 ・医療法人への声掛け 1法人</p> <p>○民間事業者移動販売 ・とくし丸（セイブ・セイミヤ） 運行台数：3台（週2回） ・カスミ 公共施設や集会施設等市内全域47カ所で実施（令和5年4月17日開始）</p> <p>○協力店登録制度 令和5年9月25日より協力店の募集を開始し、14事業者からの登録があった。引き続き民間事業者へ事業の周知・協力依頼を行っている。また、「買い物支援協力店一覧」パンフレットの作成やホームページへの掲載を通して、市民等への周知を進めている。</p>	75%	

3. 子育て世代に選ばれるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-1	子育て世帯訪問支援事業 (子ども部 子ども未来課)	ヤングケアラーなどの課題を抱える家庭をより効果的に支援するため、家事や養育に関する援助を行うアウトリーチ型の支援を行う。	2,496	1,248	60	0	<p>利用状況</p> <p>○利用世帯 1世帯 ○利用日数 8日 ○利用時間数 16時間</p>	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-2	医療福祉費支給制度 (保健福祉部 国保年金課)	<p>医療福祉費支給制度(県補助事業)</p> <p>【制度概要】 妊産婦・小児・ひとり親家庭・重度心身障害者等を対象に、保険診療分の医療費の一部負担金(1~3割)を公費(県1/2, 市1/2)で助成する。</p> <p>【対象者】 妊産婦：母子健康手帳の交付を受けた者 小児：0歳~18歳までの者 ひとり親家庭：18歳までの子を監護しているひとり親の親及び子等 重度心身障害者：身体障害者手帳1, 2級及び3級(内部障害に限る)の所持者等</p> <p>【自己負担金】※医療機関ごと 外来：1日600円(月2回まで, 3回目~無料) 入院：1日300円(月3,000円まで)</p> <p>【支給内容】 一部負担金から自己負担金を控除した額 ※妊産婦は出産に必要な疾病等の治療に限る ※重度心身障害者は自己負担金なし ※小児の外来は12歳まで。入院は18歳まで</p>	959,765	940,553	911,380	0	<p>執行額 911,380千円</p> <p>【受給者数】 妊産婦 626人 小児 19,916人 母子 2,053人 父子 189人 重度障害 1,043人 高齢重度 1,435人 合計 25,262人</p>	100%	
		<p>医療福祉費支給制度(市単独事業)</p> <p>【対象者】 妊産婦：母子健康手帳の交付を受けた者 小児：0歳~18歳までの者</p> <p>【支給内容】 妊産婦：・県補助対象外医療費の一部負担金 ・県補助対象の医療費の自己負担金 小児：・13歳~18歳までの外来医療費の一部負担金から自己負担金を控除した額 (R5.9月診療分まで) ・3歳未満児の外来自己負担金 ・0歳~18歳までの入院自己負担金 (R5.10月診療分から) ・所得制限により県補助事業の対象外となった者の外来・入院医療費の一部負担金から自己負担金を控除した額</p>	169,704	203,543	201,814	0	<p>執行額 201,814千円</p> <p>【受給者数】 妊産婦 626人 小児 9,448人 合計 10,074人</p>	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-3	一定所得層の新婚世帯の賃貸住宅への入居や住宅取得支援(企画部 企画調整課)	○結婚新生活支援事業 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、条件を満たす新婚世帯に対し、住宅取得費用等の一部を補助する。 【積算】 新規：180千円×38件 継続：120千円×3件	7,200	7,200	6,520	0	【令和5年度実績】 ■助成件数：34件 ■助成金支払額計：6,520千円 ■年間見込み件数：41件 ※事業達成率 34件/41件≒82.9%	83%	
3-4	移住・定住促進に向けた子育て世代等の住宅取得支援の取組(企画部 企画調整課)	○子育て世代・三世帯同居等住宅取得支援事業 中学生以下の子を持つ県外出身の子育て世代の定住促進のため、対象世帯の物件取得に対し助成を行う。また、住宅取得によって三世帯同居・近居になる世帯、三世帯同居・近居のために増改築を行う世帯に対し助成を行い、三世帯同居・近居を促進する。 【積算】 子育て世帯200千円×30件=6,000千円 同居(取得)200千円×10件=2,000千円 同居(増改築)150千円×5件=750千円 近居(取得)150千円×40件=6,000千円	14,750	15,846	15,846	0	【令和5年度実績】 ■助成件数：89件(子育て45件、三世帯等44件) ■助成金支払額計：15,846千円 ■年間見込み件数：85件 ※事業達成率 89件/85件>100%	100%	
3-5	子育て支援コンシェルジュの配置(子ども部 子ども政策課)	○子育て支援コンシェルジュを2名配置し、行政の子育てサービスだけでなく、子育て家庭に役立つまちの情報も含めて一体的に案内・発信する。窓口や電話での案内のほか、インスタグラム等を活用しながら、ひたちなか市での子育ての楽しみ方を発信していく。	5,944	6,318	6,160	0	相談件数等(3月末現在) ○窓口 5件 ○電話 7件 ○オンライン 3件 ○HPによる問い合わせ 5件 ○インスタグラムフォロワー数 899 ・R3作成の「親子じかん」を市内施設及び近隣市町村へ3,500部配布 ・R4作成の公園MAPを市内子育てサロン支援センターで1,800部追加配布 ・インスタグラムPRカードを更新	100%	
3-6	子育て支援センターふぁみりこ運営(子ども部 子ども政策課)	○子育て支援の拠点として、あそびのひろば、子育てに関する相談、講座の開催、子育て関連情報の提供、一時預り等を実施していく。	67,373	65,045	63,908	0	利用状況(3月末現在) ○利用登録者数 24,906人 ○利用者数 19,445人 平均利用者数 63人/日 ○一時預り利用者数 973人	100%	
3-7	子どもの遊び場運営事業(子ども部 子ども政策課)	○小学生までの児童とその保護者が安心・安全に遊べる場を子育て支援・多世代交流施設内に開設する。	404	404	284	0	長期休暇期間は平日3日間、通常は土曜日・日曜日に開催。 新規登録者 879名(3月末現在) 利用者数 2,722名(3月末現在)	100%	
3-8	子どもの居場所運営支援補助金(子ども部 子ども政策課)	○地域の中で子どもの居場所を運営する団体に対し補助金を交付する。 ・子どもの居場所8団体 ・子どもふれあい館 ・長松子ども館	7,360	6,328	6,291	0	・子どもの居場所運営支援補助金 6団体(みなとっ子応援団・くらし協同館なかよし・放課後のてらこや・医療法人博仁会・子どもサロンほっとさの・まちのこ団) 5/17~8/31交付 ・子どもふれあい館運営支援補助金 5/10交付 ・長松子ども館運営支援補助金 5/19交付	80%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-9	保育環境の充実 (子ども部 幼児保育課)	○民間保育所入所児童の保育環境向上等を図るための補助金の交付(民間保育所19施設)	49,686	49,686	49,229	0	9/20補助金交付決定 9/29精算済み(前期分) 3/15補助金交付決定 3/29精算済み(後期分)	100%	
3-10	病児保育の拡充 (子ども部 幼児保育課)	○那珂市との相互利用協定に基づく病児保育の利用の推進 ○東石川保育所における病後児保育の実施 ○民間の病児保育施設整備に対する補助 ・フロイデキンダーガルテンひたちなか ・R5は全体の10%の補助	1,958	5,119	5,119	0	○協定に基づく利用の継続 ○東石川保育所病後児保育利用実績 延べ213名(4月～3月末) ○子ども・子育て支援施設整備事業費補助金 補助対象者:(社福)博友会 12/21 補助金交付決定 1/29 工事請負契約締結	100%	
3-11	保育士確保事業 (子ども部 幼児保育課)	○市内保育所における保育士確保のための取り組みの実施 ・養成校への広報啓発 ・就職説明会, 保育所見学会の実施	-	-	-	-	○養成校への広報啓発 養成校においてワークショップを実施 ・常磐短期大学 5/31実施 ・茨城女子短期大学 6/23実施 ・茨城キリスト教大学 7/18実施 ○就職説明会, 保育所見学会 ・東石川保育所 7/22開催 ・那珂湊第一保育所 12/16開催 ※全公立保育所合同で開催	100%	
3-12	放課後児童支援員のスキル アップ及び人材の定着, 安定 確保の推進 (教育委員会 青少年課)	○放課後児童支援員の認定資格研修をはじめとする各種研修の受講を推進し, 子どもの育成支援に関するスキル向上に取り組む。 ○働きやすい環境づくりを進め, 人材確保に努める。	-	-	-	-	○令和5年度認定資格受講対象支援員(有償ボランティア含む。)13人(13人受講済) ○研修計画件数 9件(実績件数9件) ○会計年度任用職員数112人 (新規採用者8人, 退職者10人)	100%	
3-13	学校介助員 (教育委員会 指導課)	○学校介助員配置事業 小中学校に在籍する障害のある児童・生徒を援助し, 適正な教育活動の充実を図る。	114,692	118,863	118,746	0	○配置している学校数 ・小学校16校, 中学校6校, 義務教育学校1校 ○配置人数 ・学校介助員87名, 学校看護師1名 ・配置児童生徒157名 ○学校介助員訪問 ・6月と12月に配置校を指導主事が訪問して実態を把握した。 ○学校介助員研修会 ・学校介助員の資質向上のために, 茨城県立勝田特別支援学校において, 研修会を実施した。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-14	保幼小連携の推進 (教育委員会 指導課)	○保幼小連携・接続に関する事業 保幼小接続や連携に関する研修会等を実施し、円滑な接続を図る。(管理職連絡協議会、担当者部会全体会、幼稚園教育研究会との共催研修) 幼児教育アドバイザーの配置と活用 幼児教育施設と小学校の連携の強化	22	33	33	0	○研修会の実施 8月7日(月)管理職部会 ・市内全幼児教育施設、小・義務教育学校の管理職対象 ・アセスメントに基づく幼児・児童・生徒へのチーム援助と異校種の接続期の教育の更なる充実に向けた取り組みの一助とするための研修を実施 11月29日(水)担当者部会 ・市内全幼児教育施設、小・義務教育学校の担当者対象 ・保幼小の架け橋期における取り組みの紹介と研究協議を実施 ○幼稚園教諭を幼稚園教育アドバイザーとして指導課に配置し、保幼小連携を推進(令和元年度から) ・計画訪問等における幼稚園訪問での指導助言 ・幼稚園教諭の資質向上を図る研修等での指導助言 ・民間幼児教育施設の巡回 ・市教育支援委員会での対応	100%	
3-15	I C T教育の推進 (教育委員会 指導課)	○I C T教育を効果的に推進するための教職員研修の実施 ○新学習指導要領に係る教育課程研究推進校(美乃浜学園)での調査研究	433	433	49	0	○夏季休業中(7/28, 8/3)に全校を対象にI C T活用指導力向上研修会を実施。参加者73名。 ○夏季休業中(8/1)にプログラミング教育研修を実施。参加者16名。 ○美乃浜学園で、学習指導要領の着実な実施に向けた探究を軸とした学びのスタイル(課題解決型の学び)での授業の実施と、授業におけるI C Tの効果的な活用に関する研究発表を行った。研究紀要については、電子データで各校に配付した。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-16	小学校・義務教育学校（前期）水泳学習委託事業（教育委員会 学校管理課）	○小学校水泳学習委託 民間プール施設を使用した水泳授業	49,000	40,023	39,917	0	○小学校水泳学習委託 R5.5.1単価契約済み 事業実施完了	100%	
		○義務教育学校（前期）水泳学習委託 美乃浜学園水泳授業への指導員派遣	555	693	693	0	○義務教育学校（前期）水泳学習委託 R5.5.1単価契約済み 事業実施完了	100%	
3-17	小中学校給食室改修事業（教育委員会 学校管理課）	○外野小学校給食室改修工事 ドライシステム化による給食室改修	415,988 (繰越)	415,988	354,405	0	○給食室改修工事（建築，電気，機械，監 理） R5.3.28契約，工期R5.3.29～R6.3.4 完了	100%	
		○勝田第二中学校給食室改修工事 ドライシステム化による給食室改修	433,402 (繰越)	433,402	383,420	0	○給食室改修工事（建築，電気，機械，監 理） R5.3.28契約，工期R5.3.29～R6.2.26 完了	100%	
3-18	小中学校給食室改修事業（教育委員会 保健給食課）	○外野小給食室ドライシステム化備品購入 給食室改修工事に伴う給食用備品購入	122,087 (繰越)	122,087	96,778	0	○ドライシステム化給食用備品購入 R5.3.28契約 R5.3.29～R6.3.25 完了	100%	
		○勝田二中給食室ドライシステム化備品購入 給食室改修工事に伴う給食用備品購入	120,732 (繰越)	120,732	108,350	0	○ドライシステム化給食用備品購入 R5.3.28契約 R5.3.29～R6.3.25 完了	100%	
3-19	コミュニティ・スクール（教育委員会 指導課）	○地域とともにある学校づくり推進事業 全小・中・義務教育学校において，学校運営協議会を設置し，地域の子供たちの成長を支え育てていくため，その地域でどのような子供を育成していきたいかを学校と家庭・地域が同じ立場の委員となり熟議し，学校運営に反映していく。	1,356	1,356	1,331	0	○学校運営協議会委員の選出，委嘱 ・各校5名（美乃浜学園は9名）で学校長が推薦し，年度始めに教育委員会が委嘱 ○学校運営協議会委員構成 ・外部委員は5名，学校関係者は校長及び校長以外の2名以上の教職員で構成 ○活動内容 ・第1回（4月～5月に実施）：学校運営協議会委員委嘱状の交付，学校運営の基本方針の承認 ・第2回（7月に実施） ：学校運営に関する協議 ・第3回（11月に実施） ：学校運営に関する協議 ・第4回（2月に実施） ：学校運営に関する協議 学校運営に関する評価	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-20	十五郎穴の国指定に向けた取組 (教育委員会 総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者説明会の開催 ・市報に特集記事を掲載 ・埋蔵文化財調査センターでの特別展示 ・文化財講座の開催 	-	-	-	-	<p>○国の文化審議会で使用する資料を提出し、令和6年2月21日に国指定となる。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者説明会10/19(木) 会場 中根集落センター 講師 茨城大学人文学部田中裕教授 参加者 地権者等6名 ・市報掲載(特別記事)10/25号 「十五郎穴横穴墓および虎塚古墳」 ・埋蔵文化財調査センター(特別展示) 「祝!十五郎穴が国指定史跡へ」 11/1(水)～1/28(日) ・文化財講座 12/2(土) 「国指定史跡に迫る～虎塚古墳と十五郎穴～」講師 公社 稲田健一課長補佐 募集50人、応募48人 ・ふるさと考古学(支所展示)公社委託 12/11(月)～1/14(日) 「いせきと歩む子どもたちー虎塚50年・ふるさと考古学18年ー」169名観覧 	100%	

4. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-1	地域計画の策定に向けた各地域における座談会の開催 (経済環境部 農政課)	<p>地域での話し合いをもとに10年後の農地利用の姿を明確化した「地域計画」の策定に向け、令和5年度は長砂地区をモデル地区とし、アドバイザーの協力のもと座談会を実施する。</p> <p>○長砂地区全体説明会&座談会(7・8・9・10月) ○一中、二中、三中、佐野中学区座談会(11月)</p>	290	170	122	0	<p>○事業モデル地区である長砂地区の認定農業者を中心に座談会等を4回開催(参加者は延べ65人)し、地域農業の課題を抽出し、課題解決に向けた話し合いを実施した。</p> <p>○一中、二中、三中、佐野中学区において座談会を開催(各地区1回)し、地域農業の課題を抽出し、課題解決に向けた話し合いを実施した。</p>	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-2	ひたちなか市産ほしいもの魅力発信 (経済環境部 農政課)	<p>○ひたちなか・東海・那珂ほしいも協議会に対する補助および各種PRの実施と「ほしいも品評会」の開催。</p> <p>○県央地域連携中枢都市圏における「ほしいもブランディング事業」によるブランド化の実施。</p> <p>○IBARAKI senseで「(仮称)ほしいもイベント」を実施し、巨大マーケットに対して「ひたちなか市産ほしいもの魅力を発信し、ブランド化を図るとともに販路拡大に寄与する。</p>	3,175	3,326	3,315	0	<p>○ほしいも協議会に対して補助金交付済み(未清算)。</p> <p>PR事業として、ホームページやSNSをはじめ、関西方面メディア訪問、レジャー記者会見、プレゼントパブリシティ、JR水戸駅ほしいも販売会等を実施した。</p> <p>「ほしいも品評会」については、1次審査をワークプラザ勝田で、2次審査をファッションクルーズで実施した。また「ほしいも品評会」の翌日には「ほしいもフェア」を開催し、ほしいも品評会受賞ほしいもが当たる抽選会や販売会、飲食店とのコラボ商品の販売等を実施した。</p> <p>○県央地域連携中枢都市圏事業における「ほしいもブランディング事業」のメイン事業として、本市と水戸市が中心となり、JAL機内誌「スカイワード(令和6年1月号)」へ記事掲載を行った。</p> <p>○ほしいものシーズンinに合わせ12月1日(金)～3日(日)の3日間、東京都中央区銀座のIBARAKI senseにおいて、茨城県と協力し「ほしいも祭り」を開催した。ほしいも作り体験のほか、市長によるほしいも無料配布やほしいもガチャ等の企画を実施した。</p>	100%	
4-3	新規漁業就業者支援事業 (経済環境部 水産課)	○漁業協同組合と連携を図りながら漁業体験事業を実施する。	68	68	68	0	<p>○漁業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回6/23実施 4名参加 ・第2回10/27実施 4名参加 	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-4	魚食推進事業 (経済環境部 水産課)	○魚食普及活動実行委員会補助金 ①魚食普及PR活動 ②水産物PR活動 ③水産物バスツアー開催	4,000	4,000	4,000	0	○補助金交付決定済み ①魚食普及PR活動 ・#ひたちなか魚でおうちごはんキャン ペーン実施(8/10~10/9) ・地魚応援隊登録店にてデジタルスタン プラリーを実施(10/10~1/8) ・地魚応援隊登録募集 登録店に登録証とのぼり旗の交付 ・大型店連絡協議会加盟のスーパーで ととの日キャンペーン開催 ・市報連載 「簡単魚料理レシピ動画紹介」 7月, 10月, 12月掲載 ②水産物PR活動 ・みなと産業祭(10/15開催) あんこうの吊るし切りのほか, 旬な 地魚と触れ合えるタッチプール実施 ・産業交流フェア(11/4, 5開催) 旬な地魚と触れ合えるタッチプール 実施(11/4) 公式SNSフォローによる本市産水産物 を景品とした抽選会実施(11/5) ③水産物バスツアー開催 ・8/8実施 親子14組28名参加 カツオの薫焼き体験, 漁船乗船体験 タコの塩もみ体験を実施	100%	
4-5	本格的な観光需要の回復 (経済環境部 観光振興課)	【集客イベントの開催及び開催支援】 自主イベントの開催や, 各実行委員会等が 開催するイベントの開催支援により, 賑わい の創出と地域振興を図る。 ◇フラフェスティバル: 運営, PR ◇ラッキーフェス: 運営支援 ◇平磯町三社祭: 運営支援 ◇ティーンズロック: 運営支援 ◇ひたちなか祭り: 運営支援 ◇ひたちなか祭り花火大会: 運営支援 ◇みなと八朔まつり: 運営支援 ◇那珂湊海上花火大会: 運営支援 ◇ビッグウェーブ: 運営支援 ◇ひたちなかアドベンチャー(ジョイフル本 田): 運営支援 ◇オーシャンドッグフェス: 運営 ◇阿字ヶ浦海岸花火大会: 運営支援 ◇菊花展: 運営支援 ◇コーヒーフェス: 運営支援 ◇磯節全国大会: 運営支援	26,950	28,150	27,533	0	【集客イベントの開催及び開催支援】 ◇フラフェスティバル: 実施済(入込客数3,712人) ◇ラッキーフェス: 実施済(入込客数42,000人) ◇平磯町三社祭: 実施済(入込客数18,000 人) ◇ティーンズロック: 実施済(入込客数1,350人) ◇ひたちなか祭り: 実施済(入込客数130,000 人) ◇ひたちなか祭り花火大会: 実施済(入込客 数80,000人) ◇みなと八朔まつり: 実施済(入込客数 70,000人) ◇那珂湊海上花火大会: 実施済(入込客数 35,000人) ◇ビッグウェーブ: 台風の影響により中止 ◇ひたちなかアドベンチャー(ジョイフル本 田): 実施済 ◇オーシャンドッグフェス: 実施済(入込客数1,000 人) ◇阿字ヶ浦海岸花火大会: 実施済(入込客数 4,000人) ◇菊花展: 実施済(入込客数6,500人) ◇コーヒーフェス: 実施済(入込客数12,000人) ◇磯節全国大会: 実施済(入込客数594人) ◀事業実施率: 14/14▶	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
		【海水浴場開設及び開設支援】 阿字ヶ浦・平磯海水浴場の開設を支援するとともに、姥の懐マリンスパの新たな利活用を進めることで、賑わいの創出と地域振興を図る。 ◇阿字ヶ浦海水浴場：開設支援 ◇平磯海水浴場：開設支援 ◇姥の懐マリンスパの利活用	24,111	21,264	20,020	0	【海水浴場開設及び開設支援】 ◇阿字ヶ浦海水浴場：開設済（入込客数90,576人 ※開設日数37日間） ◇平磯海水浴場：開設済（入込客数17,409人 ※開設日数37日間） ◇姥の懐マリンスパの利活用：オーシャンドッグフェスで活用 ≪事業実施率：3/3≫	100%	
4-6	広域観光推進事業 (経済環境部 観光振興課)	【ひたちなか大洗リゾート構想推進事業】 2市町を一体的なエリアとして情報発信することで、誘客や滞在時間の延長を促進する。また、2市町の地域食材を活用したグルメの普及を促進するとともに、新たなアクティビティを開発することで、観光消費額の向上に繋げる。 ◇開発グルメの普及促進 ◇新たなアクティビティ開発事業 ◇周遊バスの運行	5,200	5,200	4,968	0	【ひたちなか大洗リゾート構想推進事業】 ◇開発グルメの普及促進（ほしいもシェイク）：完了 ◇新たなアクティビティ開発事業（謎解きイベント事業）：完了 ◇周遊バスの運行：完了 ≪事業実施率：3/3≫	100%	
		【大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進事業】 各種広報活動やイベントの開催を通じて、サイクルツーリズムを推進する。 ◇サイクリング動画を活用した有料広告配信 ◇サイクリングイベントの実施	1,200	1,200	1,102	0	【大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進事業】 ◇サイクリング動画の撮影を実施し、後夜祭にて上映：完了 ◇サイクリングイベントの実施：後夜祭開催（73名出席） ≪事業実施率：2/2≫	100%	
4-7	お土産品開発・磨き上げ及び 宿泊需要創出事業 (経済環境部 観光振興課)	【お土産品開発・磨き上げ事業】 観光協会と連携し、市内の事業者と県内のデザイナーをマッチングし、お土産品の開発・磨き上げを行うことで、観光消費額の向上に繋げる。 【宿泊需要創出事業】 観光協会と連携し、モニターツアーを企画・実施し、宿泊需要の創出に繋げる。	11,530	11,530	11,309	0	【お土産品開発・磨き上げ事業】 完了 【宿泊需要創出事業】 完了 ≪事業実施率：2/2≫	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-8	茨城港常陸那珂港区の整備・利用促進 (港湾建設負担金, コンテナ貨物集荷促進事業) (企画部 企画調整課)	○港湾建設負担金 国直轄事業費: 東防波堤(ケーソン据付1函, ケーソン製作2函), 中央ふ頭地区(ケーソン製作1函)	116,100	122,605	122,605	0	○直轄事業 (東防波堤) ケーソン据付1函, ケーソン製作2函 (中央ふ頭水深12m岸壁2バース目) ケーソン製作1函	100%	
		○コンテナ貨物集荷促進事業 常陸那珂港振興協会が実施するコンテナ貨物の荷主企業等を助成する事業の原資の一部を負担	10,850	10,850	10,850	0	○申請実績 ・荷主支援 新規利用 コンテナ1,776本 継続利用 コンテナ1,244本 ・トライアル事業 1件 (新規航路開設に伴う常陸那珂港区利用と京浜港利用の比較調査事業)	100%	
4-9	企業誘致の取組 (企業立地セミナー, ポートセールス) (企画部 企画調整課)	○セミナーによるひたちなか地区PR(3回)	139	246	246	0	いばらきの港説明会 (R5.11.22) いばらき産業立地セミナー I N大阪 (R6.2.6) いばらきの港北関東セミナー (R6.2.14)	100%	
		○ポートセールスによる常陸那珂港区PR(2回)	1,838	1,838	566	0	国内ポートセールス 1回 (R5.10.5~6実施) 海外ポートセールス (R5.10.23~25実施)	100%	
4-10	中小企業事業活性化補助金 (経済環境部 商工振興課)	○市内中小・小規模事業者及び個人事業主の経営基盤・競争力の強化を図るため, それらに資する対象事業者の取組みに対して, 経費の一部を補助する。 ①新製品・新技術等の開発 ②販路開拓に向けた展示会出展, 自社ホームページの作成・刷新 ③人材育成(技能訓練) ④人材確保 の取組みについて, 補助を行う。	10,000	9,600	8,146	0	○中小企業事業活性化補助金申請状況 ①新製品等開発事業 ⇒3件, 3,489千円 ②ビジネスマッチング事業 ⇒22件, 3,185千円 ③技能訓練実施事業 ⇒8件, 508千円 ④人材確保推進事業 ⇒9件, 964千円 4事業合計 8,146千円	100%	
4-11	創業に関するフォロー体制構築 (経済環境部 商工振興課)	○産業活性化コーディネーター5名の内, 1名を創業担当コーディネーターとして配置し, 創業希望者等に対する伴走支援を実施する。 ・創業スクール受講生のフォローアップ ・創業支援ガイドの作成 ・創業支援ネットワーク会議の開催	19,986	19,986	18,195	0	・創業支援者 28名 ・創業支援ガイド作成 ・創業支援ネットワーク会議 R6年1月開催	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-12	ふるさと納税の取組 (企画部 企画調整課)	○ふるさと納税業務 地場産品や実際に市を訪れていただく「体験型」等、返礼品の充実を図るとともに、寄付者との接点となるポータルサイトを拡充することで、寄付受入件数の拡大を図るとともに、本市の魅力発信や地場産業の活性化、交流人口・関係人口の拡大に努める。また、地方創生の取組に対して、企業からご寄付をいただく企業版ふるさと納税について、自治体と企業とのマッチング等に知見のある民間事業者と連携し、企業とのパートナーシップの構築に努める。 【積算】 ・委託料160,856千円 ・通信運搬費25千円 ・手数料1,577千円 ・印刷製本費75千円 ・積立金43,003千円	205,536	412,028	286,376	0	○ふるさと納税業務委託(完了) ポータルサイトを運営する7社に委託して返礼品の提供を行った。 【令和5年度実績】 ■件数:21,268件 ■寄付金額:3億5,987万9千円 ※参考 ○企業版ふるさと納税業務委託(完了) 2社にマッチングサポート業務を委託して企業からの寄付を募り、官民が連携した地方創生に取り組んだ。 【令和5年度実績】 ■件数:13件 ■寄付金額:12,700千円	100%	
4-13	スポーツの振興 (市民生活部 スポーツ振興課)	○第71回勝田全国マラソン開催 (令和6年1月28日)	18,000	18,000	12,717	0	○9月19日～9月27日先行申込受付:1,202名 (ひたちなか市民及び東海村民対象) ○9月29日～10月23日通常申込み受付 ○申込者数 15,945名	100%	
		○第77回三浜駅伝競走大会開催 (令和5年12月3日)	5,600	5,600	5,600	0	○9月19日～10月20日申込み受付 ○申込チーム数 128チーム	100%	
		○ホームタウンパートナー協定に基づいた実業団スポーツチームとの取組	40	40	31	0	○日立Astemoリヴァーレ バレーボール教室 5月23日～6月14日 6回開催 参加者39名 7月23日開催 参加者76名 ○日立ハイテッククーガーズ バasketボール教室 7月26日開催 参加者102名 ○日立女子陸上部 生涯スポーツ指導者講習会 3月9日開催 参加者22名	100%	

5. 快適で機能的な住みよいまちづくり

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-1	佐和駅東西自由通路及び新駅舎整備事業 (都市整備部 都市計画課)	○委託 ・JR工事委託 ※R2～5債務負担 1式	921,600 (繰越)	921,600	921,600	0	○委託 東西自由通路整備等工事委託完了	100%	
		○委託 ・JR工事委託 ※R2～5債務負担 1式	956,980	758,980	758,716	0	○委託 東西自由通路整備等工事委託完了	100%	
5-2	佐和駅東口整備事業 (都市整備部 都市計画課)	○工事 ・東口広場工事(シェルター, 交流広場等) 1式 ・東口アクセス道路工事 1式	213,000	262,533	62,503	200,030	○工事 東口広場整備工事A=6,000㎡ 契約済未完了(2件) 東口アクセス道路整備工事L=200m 契約済未完了(1件)	50%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-3	佐和駅西口整備事業 (都市整備部 都市計画課)	○工事 ・西口広場工事(シェルター, 交流広場等) 1式	200,000	343,467	42,302	301,165	○工事 西口広場改修工事A=4,000㎡ 契約済未完了(1件) 未契約(1件)	25%	東口広場整備の進捗状況を見据えながら工事に着手する計画としており, 5月契約見込。
5-4	佐和駅前自転車駐車場整備事業 (市民生活部 生活安全課)	佐和駅東西自由通路及び新駅舎の整備に伴い, 自転車駐車場の新設を行なう。 ○佐和駅東口北自転車駐車場整備 道路舗装L=149m, アスファルト舗装A=274㎡, 屋根付きサイクルラック(240台収容), 照明柱2基 ○県道瓜連馬渡線からの自転車駐車場へのアクセス道路整備 道路改良L=73m, アスファルト舗装A=174㎡, 道路照明1基, 園路広場の整備 ○佐和駅西口自転車駐車場整備 道路舗装, 道路付属施設及び屋根付きサイクルラック等詳細については検討中	172,000	172,000	78,185	93,815	○令和5年12月完了・供用開始 ○令和6年3月完了・供用開始 ○令和5年12月契約(令和6年度繰越)	83%	
		【繰越事業】 ○佐和駅東口北自転車駐車場整備 道路舗装L=149m, アスファルト舗装A=274㎡, 屋根付きサイクルラック(240台収容), 照明柱2基 ○佐和駅東口北自転車駐車場整備(駅舎への接続箇所)の整備 道路改良L=150m, 排水側溝L=78m, 擁壁L=15m, 転落防止柵L=18m, 階段1箇所	34,656 (繰越)	34,656	34,656	0	○令和5年12月完了・供用開始 ○令和5年8月完了, 12月供用開始	100%	
5-5	東部第1土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理二課)	○委託 ・出来形確認測量業務委託(1件) ※債務負担行為(R3~R5)	71,606	71,606	61,314	0	○委託 出来形確認測量業務委託 完了(1件)	100%	
		○委託 ・換地計画関連委託(1件) ※債務負担行為(R4~R5)	58,170	58,170	41,492	0	○委託 換地計画関連委託 完了(1件)	100%	
5-6	東部第2土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理二課)	○向野西原線整備 ・建築物移転補償(1戸)	11,496 (繰越)	11,496	11,496	0	○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○向野西原線整備 ・建築物移転補償(1戸)	31,595	31,595	22,052	9,500	○補償 建築物移転補償 契約済未完了(1戸)	50%	
		○統合調整池整備 ・統合調整池築造工事	100,000	100,000	0	100,000	○工事 統合調整池築造工事 未契約(1件)	0%	工事全体の設計について精査した結果, 設計の見直し等により不測の期間を要したため。5月契約見込み。

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-7	佐和駅東土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理一課)	○佐和駅東口交通広場整備 ・佐和駅東口交通広場整備(A=2,400㎡) 1式	23,470 (繰越)	33,858	33,858	0	○工事 交通広場整備 完了(2件)	100%	
		○佐和駅東口交通広場整備 ・佐和駅東口交通広場整備(A=3,600㎡) 1式	103,840	107,785	38,540	69,245	○工事 交通広場整備 契約済み未完了(2件)	50%	
		○佐和停車場高野線整備 ・道路改良工事(L=182m) ・建築物移転補償(1戸)	91,963 (繰越)	87,984	87,984	0	○工事 道路改良工事 完了(3件) ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○佐和停車場高野線整備 ・道路改良工事(L=144m) ・建築物移転補償(1戸)	39,613	39,613	33,101	6,512	○工事 道路改良工事 契約済み未完了(1件) 未契約(2件) ※8月契約予定 ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	58%	
		○高場高野線整備 ・道路改良工事(L=129m) ・建築物移転補償(1戸)	59,000 (繰越)	56,228	56,228	0	○工事 道路改良工事 完了(1件) ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○高場高野線整備 ・道路改良工事(L=61m)	3,333	3,333	0	3,333	○工事 道路改良工事 未契約(1件) ※6月契約予定	0%	繰越事業で実施した建築物移転補償に日数を要し、道路改良工事の発注に遅れが生じたため。6月契約見込み。
		○勝田佐野線整備 ・道路改良工事(L=17m) ・建築物移転補償(1戸)	14,057	14,057	12,814	1,243	○工事 道路改良工事 未契約(1件) ※8月契約予定 ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	50%	
5-8	武田土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理一課)	○武田本町線整備 ・建築物移転補償(1戸)	11,183 (繰越)	11,183	11,183	0	○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○武田本町線整備 ・道路改良工事(L=83m) ・建築物移転補償(2戸)	80,200	70,702	50,851	19,851	○工事 道路改良工事 完了(1件) 未契約(1件) ※5月契約予定 ○補償 建築物移転補償 完了(1戸) 契約済み未完了(1戸)	63%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-9	六ッ野土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理事業課)	○中根六ッ野線整備 ・側溝敷設 ・建築物移転補償 (3戸)	35,035 (繰越)	35,035	34,715	0	○工事 側溝敷設 完了 (2件) ○補償 建築物移転補償 完了 (3戸)	100%	
		○中根六ッ野線整備 ・道路改良 (L=74.9m) ・側溝敷設 ○補償 ・建築物移転補償 (6戸) ・工作物移転補償 (2戸)	260,480	260,480	173,733	86,746	○工事 道路改良工事 契約済み未完了 (1件) 側溝敷設 完了 (1件) ○補償 建築物移転補償 契約済み未完了 (6戸) 工作物移転補償 完了 (1件) 未契約 (1件)	63%	
		○東石川高野線整備 ・道路改良 (L=437.5m) ・歩道舗装	72,655 (繰越)	77,088	77,088	0	○工事 道路改良工事 完了 (1件) 歩道舗装 完了 (2件)	100%	
5-10	阿字ヶ浦土地区画整理事業 (都市整備部 那珂湊事務所)	○湊線延伸用地確保 ・建築物移転補償 (1戸)	14,700 (繰越)	14,700	14,700	0	○補償 建築物移転補償 完了 (1戸)	100%	
		○湊線延伸用地確保 ・建築物移転補償 (1戸)	52,000	50,875	35,575	15,300	○補償 建築物移転補償 契約済み未完了 (1戸)	50%	
		○阿字ヶ浦東通り線整備 ・擁壁工事設計業務委託 (1件)	18,000	7,942	7,942	0	○委託 設計業務委託 完了 (1件)	100%	
5-11	船窪土地区画整理事業 (都市整備部 那珂湊事務所)	○事業計画書の変更 ・事業計画変更委託 (都市計画道路富士ノ上阿字ヶ浦線の一部区 間廃止に伴う事業計画変更)	11,300	11,300	0	11,300	○委託 事業計画変更委託 契約済み未完了 (1件)	50%	
		○和田町常陸海浜公園線整備 ・和田町常陸海浜公園線側道整備工事 (L=8.0m)	6,400	1,232	1,232	0	○工事 道路改良工事 完了 (1件)	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-12	東中根高場線道路改良事業 (都市整備部 都市計画課)	○工事 ・積荷転落防止柵等製作工事 1式 ○委託 ・JR工事委託 ※R3～6債務負担 1式	253,919 (繰越)	253,919	247,718	0	○工事 積荷転落防止柵等製作工事(JRへ材料支給) 完了 ○委託 JR桁架設工事委託 完了	100%	
		○工事 ・交差点改良工事 1式 ・道路改良工事(新橋梁・盛土部改良等) 1式 ・道路改良工事(新橋・現橋盛土部改良等) 1式 ○委託 ・JR工事委託 ※R3～6債務負担 1式	342,821	339,205	187,812	151,391	○工事 交差点改良工事N=2箇所 契約済み未完了 道路改良工事(新橋道路改良等) 1式 契約済み未完了 道路改良工事(中央分離帯等) 1式 契約済み未完了 ○委託 JR桁架設工事委託 完了	63%	
5-13	新中央図書館の整備検討 (教育委員会 中央図書館)	新中央図書館の建設に向け、整備地の決定や用地測量の実施、その他必要な検討を進める。 ○委託 新中央図書館測量業務委託 (A=3.01ha)	0	7,920	7,920	0	7/12 第1回新中央図書館整備検討委員会開催 「整備地の決定について」 8/8 8月庁議 整備地を「東石川第4公園敷地」に決定 ○委託 新中央図書館測量業務委託 完了 12/16 令和5年度第1回市民ワークショップ開催 2/10 令和5年度第2回市民ワークショップ開催	100%	
5-14	(仮称)大平公園整備事業 (都市整備部 公園緑地課)	○工事 (仮称)大平公園整備工事A=2,020㎡	12,099 (繰越)	12,099	12,099	0	○工事 (仮称)大平公園整備工事 完了	100%	
		○工事 (仮称)大平公園整備工事A=2,020㎡	16,622	15,571	7,173	8,398	○工事 大平公園整備工事(R4国補都防第7号) 完了 大平ふれあい広場整備工事 (R5国補都防第4号) 未契約	50%	
5-15	公共交通の充実 (企画部 企画調整課)	○スマイルあおぞらバスの運行 運行委託料 茨城交通 5路線 さくら交通 3路線	150,781	142,570	142,570	0	コミュニティ交通運行事業委託料 (完了)	100%	
		○地域公共交通利用喚起事業補助 基幹的な地域交通について、定時定路線での運行を維持するため、利用促進を目的に、「1日フリー券」の割引販売の実施に対して補助する。 補助額：1枚あたり400円程度(券種による) 実施期間：R5.8.1～R6.1.9	0	22,400	18,938	0	地域公共交通利用喚起事業補助金(完了)	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-16	ひたちなか海浜鉄道への支援 (企画部 企画調整課)	○利用促進事業 湊線存続や利用促進のために活動している市民団体に対し運営費の一部を補助する。	500	500	500	0	おらが湊鐵道応援団補助金 (交付決定済み 未清算)	50%	
		○環境整備事業 利便性及び快適性の向上及び利用の促進を図るため、環境整備及び利用促進に係る経費の一部を補助する。 ・平磯駅ホーム進入路上屋設置	2,530	2,530	2,530	0	湊線環境整備費補助金(完了)	100%	
		○安全運行を確保するための支援(繰越) 湊線の設備投資に係る経費に対し補助する。 ・信号保安設備 踏切保安設備及び器具箱更新 (磯崎第2踏切, 平磯第2踏切) ・線路設備 PC枕木更新(金上駅～中根駅間) ・車両設備 全般検査(1両:キハ11-5)	32,810	32,810	32,527	0	湊線設備投資費補助金(完了)	100%	
		○湊線延伸事業 湊線延伸に係る工事施行認可申請のために必要な設計図書の作成等に係る経費を補助する。	273,460 (事故繰越)	273,460	269,720	0	湊線設備投資費補助金 (交付決定済み 未精算)	50%	
5-17	環境保全啓発活動事業 (経済環境部 環境政策課)	○環境シンポジウムの開催、ポスターコンクールを通じて環境保全活動等の重要性を周知し、普及啓発を行う。	409	409	285	0	○環境シンポジウム(2月10日開催) 交流会を開催, 6団体が活動事例を発表 ポスターコンクール(応募数109件)の入選を表彰, 応募者全員に参加賞を配布	100%	
5-18	地球温暖化対策の積極的な推進 (経済環境部 環境政策課)	○自立・分散型エネルギー設備導入促進事業 太陽光発電設備と蓄電システムを合わせて設置する家庭に対し、費用の一部を支援する。 補助件数: 50件	2,500	2,500	2,500	0	○自立・分散型エネルギー設備導入促進事業 5月25日受付開始, 9月6日受付終了 (3月末日実績) 50件, 2,500千円補助交付	100%	

6. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-1	自立と協働のまちづくりの推進 (市民生活部 市民活動課)	○コミュニティセンター等の地域運営支援 ・地域活動の拠点であるコミュニティセンター等の運営を支援する。	200,768	200,767	200,241	0	○コミュニティセンター等11施設において、コミュニティ組織による地域運営を実施。 (センター管理運営に係る財政支援)	100%	
		○まちづくり市民会議の運営支援 ・市内9つのコミュニティ組織が開催する市民会議の運営を支援する。	975	975	973	0	○各コミュニティ組織において、まちづくり市民会議を運営。 ○市民会議の活性化に向けた会議運営支援として、研修会を開催。 日時: 令和6年1月19日(金) 13時30分～15時15分 場所: ワークプラザ勝田 参加者: 49名	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-2	持続可能な自治会活動への支援 (市民生活部 市民活動課)	○自治会のICT環境整備支援 補助金やパソコン講座の開催によりICT化推進を図る。 ○自治会への加入促進 自治会ガイドブック「おとなりさん」を刷新し、自治会活動の理解を高め、加入促進に繋げる。	8,051	6,586	5,610	0	○自治会のICT環境整備支援 ・自治会活動ICT推進補助金を交付。 32自治会交付済み。 ※26自治会が3年満了。 ・パソコン講座の開催 14回(7/13, 7/14, 7/27, 10/6, 10/13, 1/11, 1/18各2回)開催済。 ※参加申込が少なく、10回中止。 ○自治会への加入促進 ・PR動画、チラシを作成した。 プロポーザル方式により、事業者を選定し、内容を検討する作成検討委員会を2回開催した。 事業者選定委員会1回(9/27) 作成検討委員会2回(10/30, 1/31)	100%	
6-3	公共施設マネジメントの推進 (総務部 資産経営課)	○限られた財源の中で、公共施設を適切に維持・更新し、持続可能な行財政運営を実現していくため、「施設保全計画」を策定する。建物や設備の劣化状況調査の結果を踏まえ、今後の修繕・建替えに要する将来負担コストと適正な施設保有量を把握する。	24,456	24,456	24,456	0	○施設保全計画策定支援業務委託 契約済み(R4.9.28契約) 契約期間 R4.9.29~R6.3.31 施設保全計画を令和6年3月に策定済み 保有する施設に係る現実的な将来負担コストの把握完了	100%	
6-4	新本庁舎の建設検討 (総務部 資産経営課)	○新本庁舎の建設に向け、庁舎建設基金への積み立てを開始する。築60年を迎える令和12年度の竣工を目途に、庁内での検討に着手する。	10,000	10,000	10,000	0	○庁舎建設基金元金積立金 令和5年度 10,000千円 ○第2回新本庁舎建設検討委員会(6/7) 職員アンケートの実施(6/8~23) 市民意向調査(12月~3月:計4回実施)	100%	
6-5	行政手続きのオンライン化の推進 (企画部 情報政策課)	○行政手続きのオンライン化 庁内の行政手続きのオンライン化方針を策定し、オンライン化を推進する。	322	322	322	0	・オンライン化方針の策定(7月) ・各課からの相談受付・支援(随時)	100%	・オンライン化方針の策定(7月) ・各課からの相談受付・支援(随時)
6-6	RPAの導入 (企画部 情報政策課)	○RPAの導入 RPAを利用してパソコン上の単純事務作業を自動化し、業務の効率化を図る。	3,160	3,160	649	0	・RPA導入説明会の開催(6月) ・5課8業務でRPA導入済 ・運用ガイドラインの策定(12月予定)	100%	・RPA導入説明会の開催(6月) ・運用ガイドラインの策定(12月) ・6課9業務でRPA導入済
6-7	行政情報の発信 (企画部 広報広聴課)	○SNSを活用した情報発信 ・市公式LINE周知のチラシ作成・配布 ・SNS利用キャンペーンの開催	314	314	249	0	○市公式LINEの機能拡充及び友だち数の増加 ・チラシを5月に市内小中学校の児童生徒に配布 ・市民課において、転入者にチラシ配布 ・R6.2利用者獲得キャンペーンを実施 ・市公式LINE友だち数 R5.3月末:24,432人 9月末:26,761人 R6.3月末:28,335人	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-8	マーケティング推進事業 (企画部 企画調整課)	○学生エール便事業 進学のため市外に転出した学生等に特産品を送付し、市公式LINEへの登録等により、つながりを維持する。	4,589	4,589	4,326	0	○学生エール便事業 5月25日から6月25日までの受付期間に795名の応募があった。市公式LINEからの申込としたことによりLINE登録者数の増にも寄与することができた。また、エール便を受け取った学生が絆構築プロジェクトへ申し込むなど、他事業への波及効果が表れてきている。	100%	
		○絆構築プロジェクト 本市出身の市外在住学生や都市部学生等から参加者を募集し、本市の課題を解決するためのフィールドワーク等を実施し、UIJターン就職等につなげていく。	4,540	4,540	4,529	0	○絆構築プロジェクト業務委託(完了) 【主な内容】 ・プロジェクトの企画運営、参加者募集 ・プロモーション 市内出身6名、県外出身8名、計14名の応募者の中から12名を選考し、「地域イベント企画コース」と「駅前活性化企画コース」に分かれ、8月から12月にかけてフィールドワークを実施した。12月22日に成果報告会を実施するとともに、1月には卒業生を交えて同窓会を開催し、関係性継続の土台作りに努めた。	100%	
		○ファン共創事業 本市のファンが集う場をつくり、横の連携や共感・愛着・信頼を増やし、関係人口の拡大や定住人口の増加につなげる。	2,568	2,568	1,977	0	○ひたちなかファン共創事業 沢かずこ応援大使を起用した市内ロケを実施し、市報等で発信することで、ファンの熱量を高め、共にまちづくりを進める機運の醸成を図った。また、ひたちなかファンベースの登録者とともに、ファンの輪を広げる仕掛けづくり考えるワークショップを開催し、活発な意見交換が交わされた。	100%	
		○市民サポーターによるSNSを活用したまちの魅力発信事業 SNSを活用し、子育て世代やF1層の共感が得られるような本市での「充実した暮らし」をイメージできる情報発信を行う。いいとこ発信隊は任期が1年であるため、「いいとこ発信隊3期生」として、SNS発信力に優れた市民サポーターを10名公募後、サポーター養成講座で基本スキルを取得し、市民目線で情報を発信していく。	866	866	807	0	○いいとこ発信隊運営事業 5月から9月まで市民が撮影した画像のコンテスト「ハッシュタグキャンペーン」を実施。いいとこ発信隊2期生による選考後、各月の入賞者に地場産品を送付した。また、公募選考を経た隊員10名に対しサポーター養成講座を4回実施し、10月より「いいとこ発信隊3期生」による市民目線でのまちの魅力発信を開始した。	100%	
		○民間企業のオンラインコミュニティを活用した官民連携事業 産経新聞社が運営するオンラインコミュニティと連携した移住ニーズの把握やプロモーションを実施する。	3,500	3,500	3,500	0	○オンラインコミュニティを活用した移住ニーズ調査及びプロモーション事業(完了) 6月に産経新聞社のオンラインコミュニティ上で本市の紹介を行い移住体験者を募集。20名の申込者の中から選考した4名が8月19日～8月21日(2泊3日)及び11月11日～12日(1泊2日)の行程で本市に滞在。その後、各々がオンラインコミュニティで体験レポートを投稿し、合計で894のコメントを得た。コメントの簡易分析から、豊かな食環境や地元の方のホスピタリティの高さが本市の魅力として高い共感を得ていることが確認された。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
		○移住促進の取組 都内で開催される移住フェア等に参加し、地方移住に関心の高い層に対して本市の魅力をアピールするとともに、移住検討者向けのお試し移住ツアーを開催する。 【積算】 ・お試し移住ツアー事業1,000千円 ・移住関連イベントへの参加245千円	1,245	1,245	854	0	○移住関連イベントへの参加 8月6日NPO法人ふるさと回帰支援センター主催「テーマから探す！移住フェア」、8/25いばらき移住・二拠点居住推進協議会主催「いばらき暮らしセミナー」に参加。 ○お試し移住ツアー事業（完了） 実施時期や内容等、完全オーダーメイドの移住体験ツアーを1泊2日から3泊4日の行程で実施。目標として設定した27名を上回る「14世帯28名」が参加し、うち2組の世帯が本市への移住を決定した。	100%	
		○わくわく茨城生活実現事業移住支援金 東京23区内からの移住の促進と中小企業等における人手不足の解消を目指し、県が定める一定の要件に該当する移住者に支援金を交付。 【積算】 ・2人以上世帯：1,000,000円×8件 ※子育て世帯への加算：子ども1人につき1,000,000円×6件 ・単身世帯：600,000円×5件	17,000	29,904	22,600	0	【令和5年度実績】 ■助成件数：14件 ・2人以上の世帯9件 ※子育て世帯への加算12件（30万円2件、100万円10件） ・単身世帯5件 ■助成金支払額計：22,600千円 ■年間見込み件数：13件 ※事業達成率 14件/13件>100%	100%	
		○シビックプライド醸成事業 シビックプライドフェスティバルを開催することにより、人々が主体的にまちづくりに関わる持続可能な地域社会について意識啓発を図る。	934	1,084	1,084	0	○シビックプライド醸成事業（完了） 10月7日・8日にコミュニティデザイナーの山崎亮氏やひたちなか応援大使の黒沢かずこ氏等を招聘し、シビックプライドフェスティバルを開催。両日とも参加者の満足度が非常に高く、シビックプライドを広く浸透することにつながった。	100%	